



上海第一
上海第一
上海第一
上海第一

1973-1990

上地第一

岡崎上地第一特定土地区画整理組合



目 次

ごあいさつ	4
祝 辞	6
表彰状・感謝状	8
完成記念碑	10
完成記念公園のシンボル時計塔	13
完成記念公園	14
施行後の航空写真	16
地区の移り変り(昭和22年)	18
(昭和44年)	19
区画整理前後対照図	20
都市計画道路	22
衣浦岡崎線・蒲郡岐阜線	22
上地町線・若松線	24
上地東・西緑道	26
街 並	28
集 合 農 地	30
公 園	32
砂川・調整池	34
教育文化施設	36
事業のあゆみ	40
事 業 概 要	44
変 貌	48
回想録(座談会より)	54
評価員・総代の紹介	66
関係協力各社	74
伝承の記	75
りゅうと天ぐの力くらべ	76
藤六のお地藏様	78
大谷村の変遷史	79
あとがき・奥付	80



岡崎上地第一特定土地画整理組合
理事長

畔柳八百吉

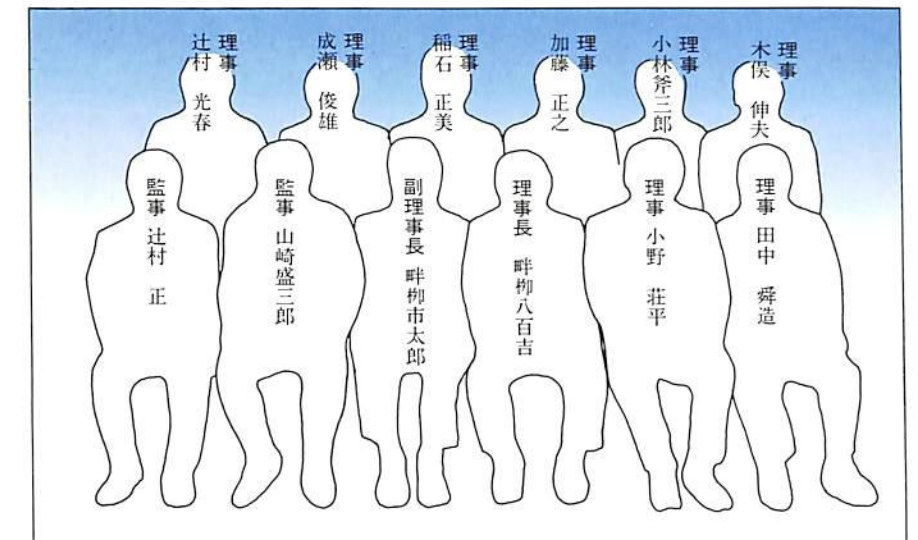
岡崎上地第一特定土地画整理事業の完成を迎えるにあたり、挨拶を申し述べることは、まことに喜びにたえません。

本組合の施行地区は、岡崎市の最南端に位置し、施行前は段々畑と大部分が水田として利用され3ヶ所に灌漑用の溜池がある農耕地でありました。しかし、昭和42年頃から急激な都市化のためスプロール現象が随所に見られ、このまま放置出来ない状態を呈して来ましたのでこの機会に懸案であった国道248号バイパス線及び衣浦岡崎線をはじめとする公共施設の新設と同時に健全で住みよい街づくりのできる土地画整理事業を早期に実施しなければならない事を痛感するに至りました。

この頃から各行政機関の協力を得ながら公民館、お寺又は個人宅等で度々説明会を開き土地所有者相集まり意見の交換調整を計りつつ、機を見て同意書を取りまとめ、事前協議の段階を経て、昭和48年7月16日県知事の事業認可を受け岡崎上地土地画整理組合として発足致しました。しかし、昭和48年は、オイルショックの年で経済の狂乱は組合を大きくゆさぶり、計画も行程も大幅に狂い悲痛な局面に立たされました。その後、昭和51年に大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法が施行され、その適用を受けることができ、事業の促進を計るため事業区域を2分割し、昭和51年12月15日付で私達は、岡崎上地第一特定土地画整理組合として再発足致しました。これらの幾多の障害と困難と厳しい情勢下にあつて役員一同常にひたむきな事業に対する執念と努力と組合員の御理解あるバックアップ、県、市当局をはじめ関係各位の懇切なる御指導により此の大事業がこんなにすばらしい完成を見る事の喜びを衷心より感謝申し上げます。

なお、今後、上地町の益々の発展と人間味豊かな潤いのある街づくりを願うものであります。重ねて事業完成の今日まで御指導、御協力を賜りました各位に衷心より感謝の誠を捧げ私の喜びの言葉と致します。

役員





愛知県知事

鈴木礼治

岡崎土地第一特定土地地区画整理事業がここにめでたく完成されましたことを心からお祝い申し上げます。

岡崎市は西三河の中核都市として、歴史的文化遺産と豊かな自然に恵まれ発展してきました。そして「明るく、住みよい、豊かな岡崎市」の実現を目指して市街地の整備、都市景観、環境の保全整備、円滑な交通体系の確保などが進められているところであります。このことは、活力と魅力にあふれる愛知づくりをめざす本県にとっても誠に心強く、一層の発展に大きな期待を寄せております。

こうした中で、岡崎土地第一特定土地地区画整理事業は、昭和48年に住民参加のもとに組合を発足されて以来16年余にわたり、役員の方々を始め組合員の皆様が一致団結して、幾多の困難を克服され、このたび、新しい街づくりを成し遂げられたのでありまして、そのご努力に心より敬意を表する次第でございます。

また、この事業の経過を記録に留め「記念誌」を発刊されますことは、誠に意義深いものであり、後世への良き指針となるものと信じます。

今後とも、この事業の経験を生かされて、立派に完成されましたこの地区を活気に満ちた魅力ある町に育てられますよう祈念いたしましてお祝いのことばとします。



岡崎市長

中根 鎮夫

岡崎土地第一特定土地地区画整理事業の完成にあたり心からお祝いを申し上げます。

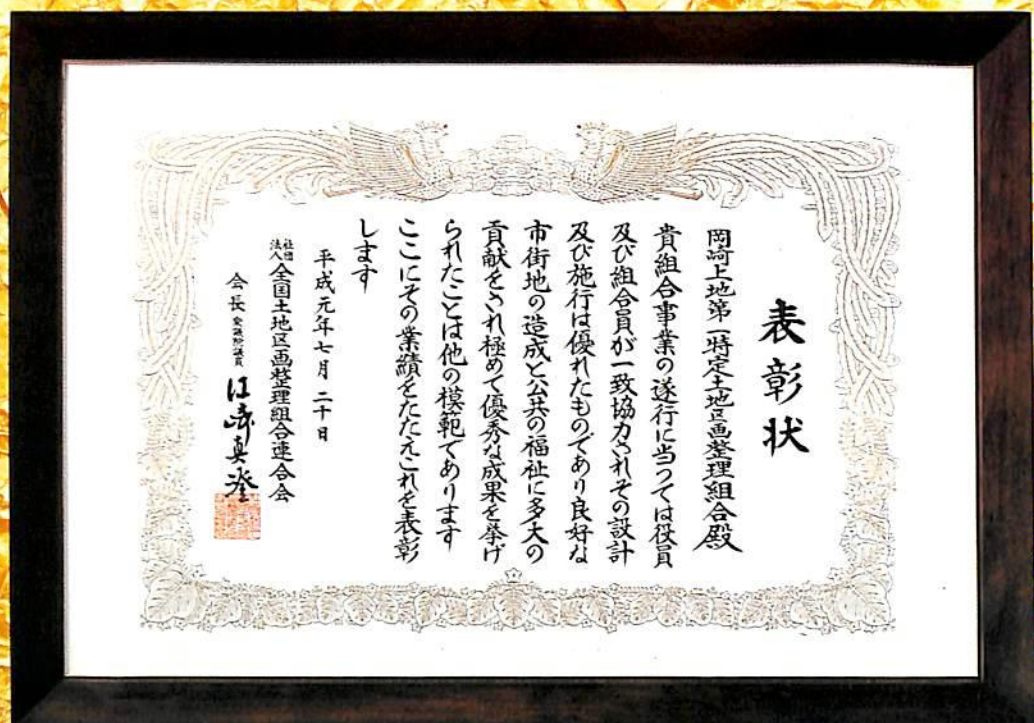
岡崎土地第一特定土地地区画整理組合は、昭和48年に設立され、今日まで16年有余の歳月により、総面積64.19㍍、総事業費55億6,500万円を費やして、事業を立派に完成されましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。

本市は、今や人口30万人を数える西三河の中核都市として躍進を続けており、健全な新市街地の造成と良好な居住環境の育成を図ることは、重要な課題でもあります。

このような都市基盤の確保を進める土地地区画整理事業は「都市計画の母」とも言われております。本事業でも、道路、公園、水路、宅地などの総合的な面整備に積極的に取り組まれ、中でも国道248号線並びに衣浦岡崎線の建設にあたっては、祖先伝来の美田との調和を図りながら立派に事業を完成され、住み良い魅力ある街づくりに努力されましたことに感謝の意を表するところであります。

本市におきましても、スポーツと文化を集約した「岡崎中央総合公園」、都市の活性化を図る工業団地「第一・第二メカトロピア岡崎」、ハイテク複合都心ビル「ハイコンプレックス21」などの大型プロジェクトの推進に全力を傾けるとともに、JR岡崎駅と周辺の整備を進め、新駅設置につきましても積極的に支援をしております。更に東岡崎駅周辺整備と関連したリバーフロント開発構想等の諸施策の検討を進め、益々の発展を図ってまいりたいと思っております。皆様方のご理解とご協力をお願いするところであります。

終わりに、本事業の完成に御尽力いただきました役員並びに組合員の御労苦と御協力に対し衷心より敬意と謝意を表し、この地域の益々の御発展を祈念しお祝いの言葉といたします。



完成記念

岡崎上地第一特定土地区画整理組合

施行前



施行後

完成記念碑

事業の沿革

私達の上地町は岡崎市の最南端に位置し岡崎駅に近く整備された市街地の建設を目的として関係地主の御理解を頂き、昭和四十八年七月十六日、愛知県知事から区画整理事業の認可を受けました。岡崎上地地区区画整理組合として総面積百三十三ヘクタールで発足致しました。昭和五十一年十二月十五日、上地地区区画整理組合は、大都市法の適用を受け上地第一、上地第二組合に分割しました。私達の組合は上地第一特定土地区画整理組合として総面積六十四・二ヘクタール、総事業費五十五億六千五百万円を再発致しました。平成元年には立派な住宅街が完成し、日常生活に必要な大型スーパー、銀行、郵便局も建設され、新しい町並の上地町が誕生した。

平成元年五月吉日建立

事業の概要

事業認可日昭和六十二年八月十九日
 総面積益々五五五〇〇〇㎡
 総事業費五五五〇〇〇〇〇円
 平成元年七月二十日
 倉上地区区画整理組合理事長 彰

役員名

理事長	畔柳八百吉	理事	木俣伸夫
副理事長	畔柳市太郎	理事	成瀬俊雄
理事	田中舜造	同	小野壯平
同	辻村光春	同	辻村正
同	稲石正美	同	山崎盛三郎
同	小林吾一	同	小林吾一
同	加藤正之	同	豊田惣次郎

完成記念碑文



完成記念公園のシンボル
カリヨン風時計塔

完成記念公園



上地一丁目に造成された完成記念公園——

上地の飛躍を目指すシンボルタワー(太陽電池で時を刻む時計塔)そして、木製の多目的遊具からなる施設は明日の上地を背おう子供達の格好の遊び場であり、情報交換の場でもある。



施行後の航空写真



地区の移り変り

(昭和22年)



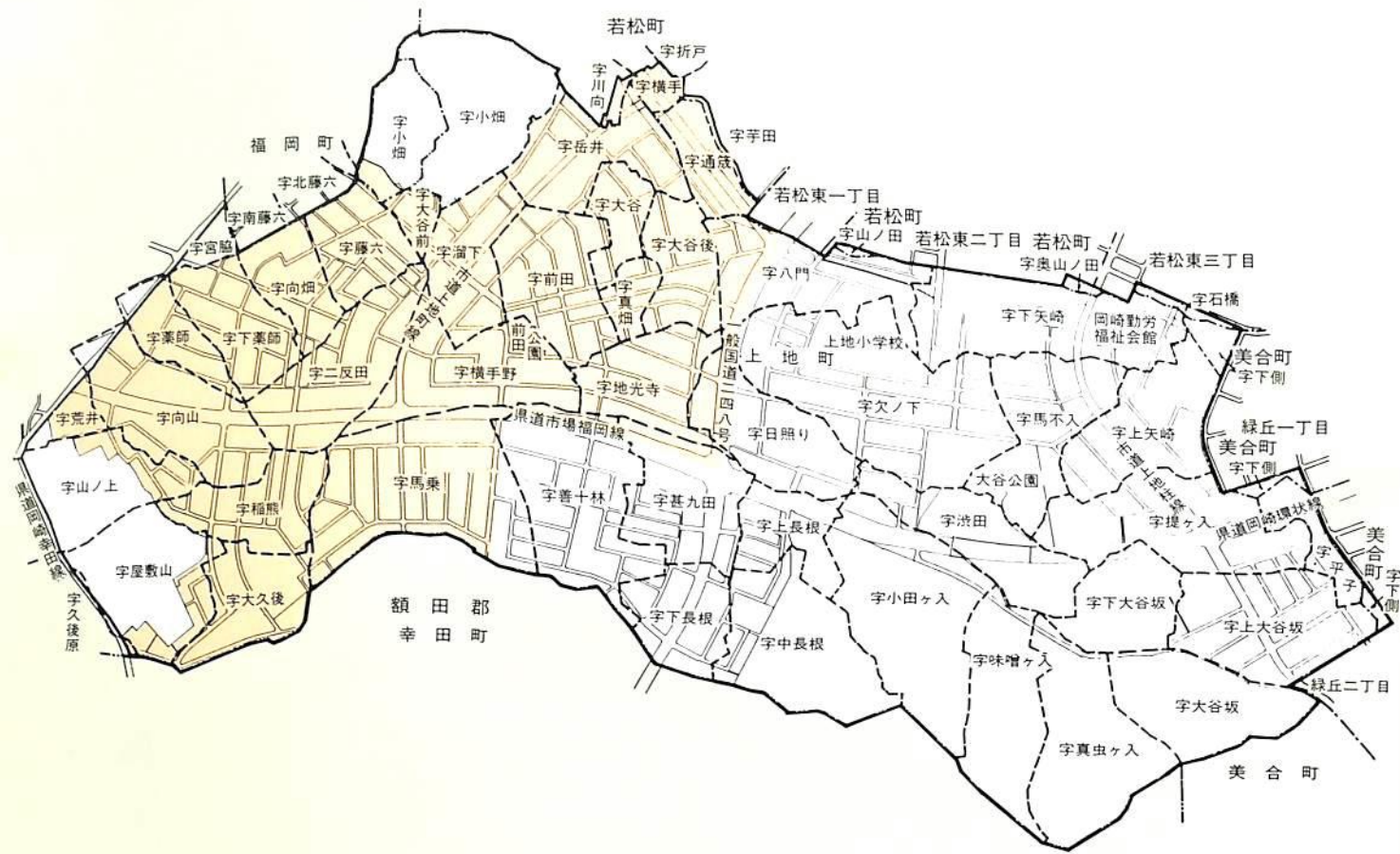
(昭和44年)



区画整理前後対照地図

三方を山林に囲まれ、狸の啼き声も聞かれた土地の里は、21世紀への期待を込めて大きく変貌した。

施行前

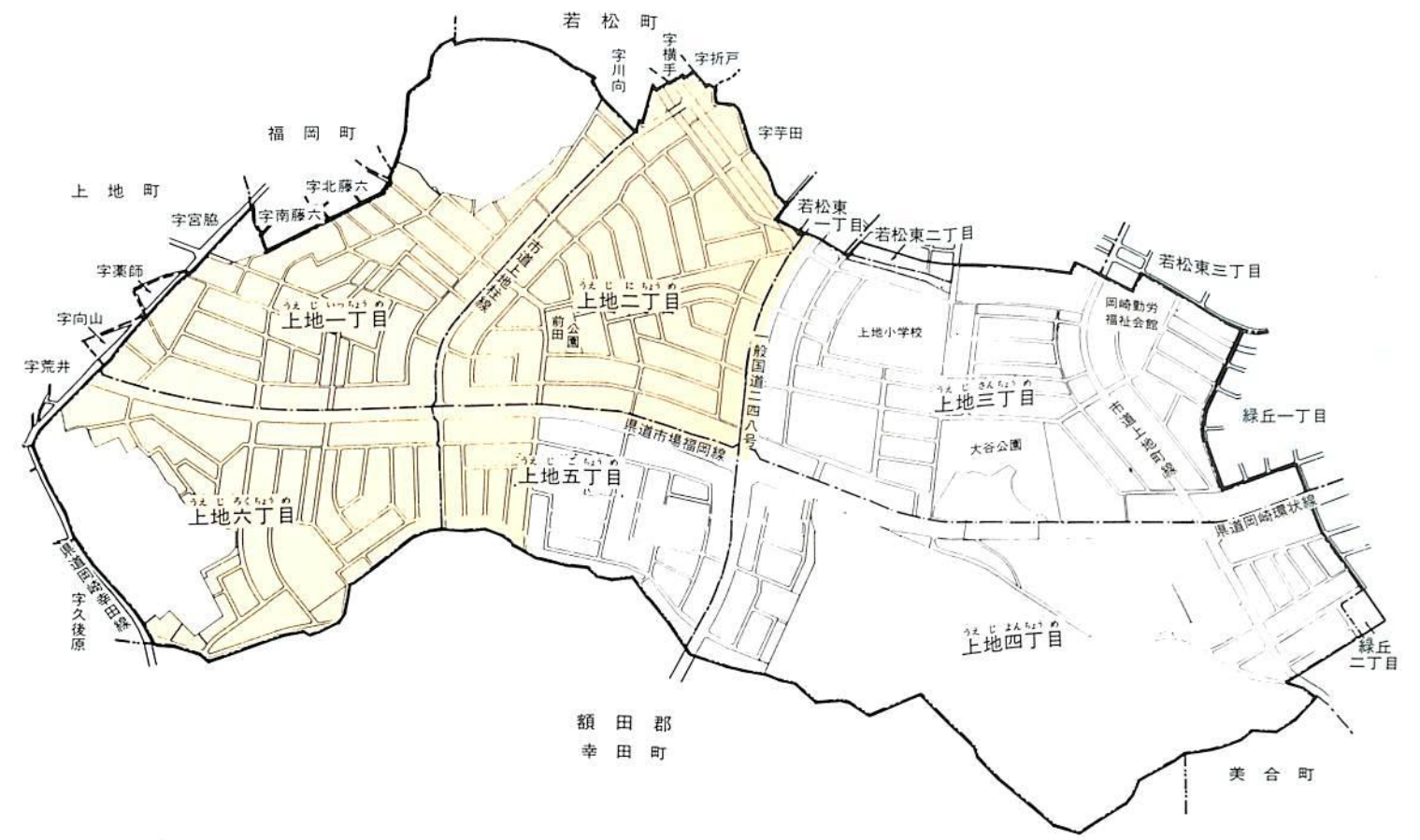


旧町字名

- 岡崎市上地町 字大谷・字大谷後・字東畑・字前田・字下薬師・字二反田・字横手野・字稻熊及び字大久後の各全部。
字岳井・字八門・字溜下・字大谷前・字藤六・字向畑・字宮脇・字薬師・字向山・字荒井・字山ノ上・字屋敷山・字久後原・字欠ノ下・字地光寺・字日照・字甚九田・字善十林・字馬乗及び字小畑の各一部。
- 岡崎市若松町 字通箴の全部。字山ノ田・字川向・字折戸及び字横手の各一部。
- 岡崎市福岡町 字小畑の各一部。

岡崎上地第一特定土地区画整理組合 事業区域

施行後



新町名

- 岡崎市上地一丁目
- 上地二丁目
- 上地五丁目
- 上地六丁目